

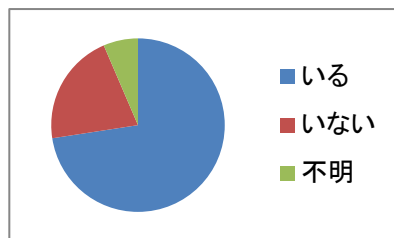
# 平成26年度 成年後見制度の利用に関する実態調査結果

横浜生活あんしんセンターでは、平成26年度法人後見支援事業において、横浜市内の障害者施設等を対象に、成年後見制度の利用状況や課題等を把握することを目的として標記アンケート調査を実施しました。

1. 調査対象：横浜市内の障害者施設等 173か所	
(内訳)	横浜市社会福祉協議会障害福祉部会会員施設 124か所
	障害者地域活動ホーム（機能強化型） 23か所
	障害者地域活動ホーム（社会福祉法人型） 11か所
	（全18か所のうち7か所が(1)と重複するため、11か所）
	精神障害者生活支援センターA型 6か所
	（全9か所のうち3か所が(1)と重複するため、6か所）
	精神障害者生活支援センターB型 9か所
2. 調査期間：平成27年1月～2月	
3. 回答数：62件（回答率35.8%）	

Q1-1 貴事業所の利用者で、成年後見制度を利用している方はいますか。

いる	45
いない	13
不明	4
合計	62

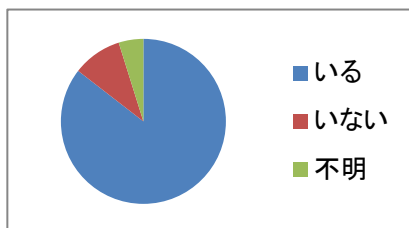


Q1-2 「いる」とお答えいただいた事業所内、成年後見制度利用者の内訳をご記入ください。

	後見類型		保佐類型		補助類型	
合計	193		17		2	
本人と後見人の関係	親族	105	親族	3	親族	0
	専門職	80	専門職	11	専門職	2
	法人	4	法人	1	法人	0
	その他	4 (弁護士1・社福士1・行政書士2)	その他	2 (社福士1・不明1)	その他	0
本人と申立人の関係	本人	6	本人	2	本人	0
	親族	107	親族	12	親族	1
	市区町村	18	市区町村	2	市区町村	0
	その他	6 (支援者1・家裁5)	その他	1 (不明1)	その他	0

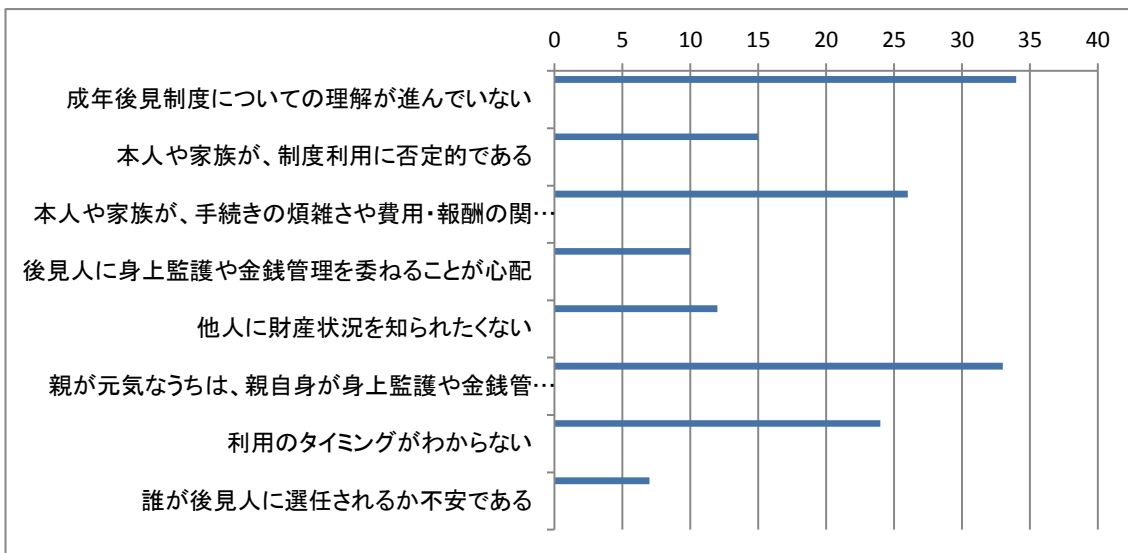
Q2-1 事業所の利用者で、成年後見制度の利用が必要だと思う方はいますか。

いる	53
いない	6
不明	3
合計	62



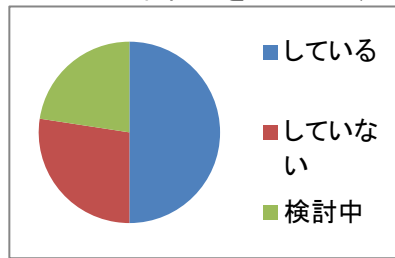
Q2-2 「いる」とお答えの事業所へお尋ねします。  
利用に至らない要因はどのようにお考えですか。

成年後見制度についての理解が進んでいない	34
本人や家族が、制度利用に否定的である	15
本人や家族が、手続きの煩雑さや費用・報酬の関係で申立てを躊躇している	26
後見人に身上監護や金銭管理を委ねることが心配	10
他人に財産状況を知られたくない	12
親が元気なうちは、親自身が身上監護や金銭管理をしたい	33
利用のタイミングがわからない	24
誰が後見人に選任されるか不安である	7
その他 ・区に相談をあげていても、タイムリーに進まない現状がある ・今後関係機関と利用を検討していく予定 ・具体的に必要な場面となっていない。 ・家族に生活状況を知られると、生活できない人がいる。 ・必要性を感じていない。 ・準備を進めており将来的には利用する方がいる	5



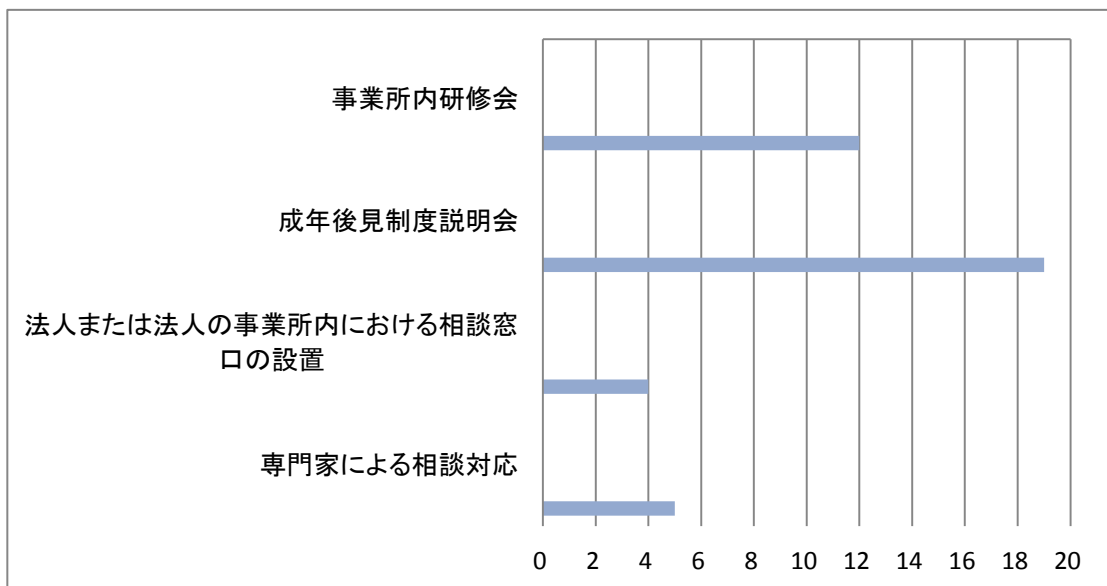
Q3-1 利用者の成年後見制度利用促進のための取組みをしていますか。

している	31
していない	17
検討中	14
合計	62



Q3-2 どのような取組ですか。

事業所内研修会	12
成年後見制度説明会	19
法人または法人の事業所内における相談窓口の設置	4
専門家による相談対応	5
その他 ・個別に成年後見制度の説明を行い、診断書等の取得に協力させていただいています ・NPO法人を立ち上げた ・保護者に制度利用をすすめている。 ・個別アプローチ、家族説明会にて案内 ・必要に応じて相談事業が関わっている ・外部研修参加 ・パンフレット、リーフレットの配布、必要に応じて制度の概要説明ならびに専門機関案内	8



Q4 成年後見制度を利用しやすくするために、何が課題であるとお考えですか。

(1)社会福祉協議会障害福祉部会会員施設

<ul style="list-style-type: none"><li>・制度の入り口のところをどうしていくかが課題だと思います。</li><li>・利用に至ってしまえば、ご本人も周りも、その有益性は誰もが認めているようです。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・身寄りがなく判断能力がない場合、区長申立をする事により、成年後見制度を利用しておけないか。</li><li>・入所前に申請中という説明があったが、全く状況が変わらない人がいるので。</li><li>・家族の理解が不要なので対応しやすいと思う。</li><li>・年金等を家族で管理する場合などに規定を設けたらどうか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・身近に感じられるよう、説明会を多く開催されることが望まれる。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に手続きをしたご家族の、体験談が聞けると良いと思います。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・手続きが複雑で、後見人が決まるまでに時間がかかりすぎる</li><li>・申請手続きにかかる費用もあり、もともと収入の少ない利用者にとって負担となる</li><li>・後見人は、金銭面は扱えるが医療面は扱えない(医療同意ができない)ことが課題</li><li>・手続きや制度概要など、分かりやすく理解できる(学べる)機会が必要</li><li>・利用する意義やタイミングを保護者と共有する必要性がある</li><li>・手帳交付や支援区分決定時に合わせて自動的に後見人の予備手続きも同時に行い、必要な時に、開始申請手続きのみ行えば、短時間で利用できる仕組み</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・制度自体を理解しやすく、保護者や本人向けに説明し、利用する場合には、どこに連絡をすればよいか等、Q&amp;Aなどの配布物があると、目にとまると思います。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・後見制度利用のメリットを、具体的事例で説明したいが、近年の個人情報の問題から制約がある。</li><li>・ご本人、ご家族が、その必要性を感じるためには、より現実的な話・事例での説明が必要であると思います。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・手続きが面倒、煩雑との意見がありました。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・制度そのものの理解を職員が深める必要がある</li><li>・ご本人やご家族が気軽に相談することができる窓口が必要である</li><li>・実際に手続きする時に、手助けしてくれる存在や機関があるとよい。</li><li>・制度を利用されている方の事例を伝えていく必要があると思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・煩雑な手続きを、簡略化すること。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・入所施設が長い間、金銭管理や身上監護をしてきたために、今のままで、という家族が多い。</li><li>・保護者会で説明や第三者(専門の後見人さん)(現在利用者の後見人になっている方)の相談等も行っている。更に職員が記入を一緒に行い、家裁への同行する等の援助をしているが、消極的である。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所に依存(説明会はしているが・・・)</li><li>・手続き完了間際に他の親族が介入して「金がかかるのでやめた」ケースが2件(具体的な必要経費が事前にわかれば安心するのか)</li><li>・親は「自分が死なないと思っている」</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・単身者の利用が進んでない。区長申請をしてくだされれば良いのでは。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・本人、家族に対し、法的に権限を与えられた後見人等が、本人に代わって財産管理や身上監護を行うことを説明、ご理解して頂くことが大切だと思います。</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の周知、理解は進んでいない印象を受ける。</li> <li>・自立生活アシスタントなど、内容が似ている部分などあるように感じ、わかりにくい印象もある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の理解が不十分であり、説明の機会をより多くする必要がある。</li> <li>・参加しやすいように事業所への出張説明会などを実施する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の概要やメリットをわかりやすく周知すること。</li> <li>・特にメリットが見えづらいことが利用しづらい要因ではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の必要性を理解できるような取組と、手続きへの支援が必要だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の方(職員もそうかもしれませんが)成年後見の必要性を感じていない方が多いように思います。</li> <li>・理解啓発や、活用されている方の小さなあつまりの単位で、生の話など聞く機会が作れるとよいかと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を開くといいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後見がつくまで申立てから時間がかかりすぎる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に数回、保護者対象に説明会を開いたが、最近では開催できていない。</li> <li>・保護者の理解が進んでいないのと、法人も積極的に利用をすすめていないのが現状です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の透明性、支援者の知識、費用負担の軽減</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手続きの代行(一緒に行える人)</li> <li>・制度自体が必要だと思う人ほど、知らないケースあり。</li> <li>・区長申し立てへのハードルが高い(身内の問題)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人や家族が必要性を感じていない。</li> <li>・これまで研修会等に参加してきているが、利用促進に有効な手立てはめぐり合っていない。</li> </ul>

## (2)障害者地域活動ホーム(機能強化型)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援の充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の仕組が複雑なうえ、手続きが大変であることから、利用に対し否定的であると思われる。</li> <li>また、仮に利用をはじめたとしても、それまでと同様の生活を送ることができるのかわからないとの声があり、親が担ってきた、本人に対する様々な部分が、行き届かなくなるのではと不安の表れと思われる。</li> <li>・制度を利用しやすくするために、特に障害をもった方が利用する想定での周知パンフレットなどがあると分かりやすいのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢な家族にとって、申請等の手続きが負担になっている。</li> <li>また制度のわかりにくさもある。</li> <li>・親亡き後の心配は、どのご家族も感じているが、なかなかピンとこない様子。</li> <li>・後見的支援と成年後見制度がごちゃまぜになってかなりわかりにくい様子。名称の変更も必要である。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や手続き、その後の煩雑さが利用のネックになっていると考えられます。</li> <li>・煩雑さ以上に必要性を感じ、各種会議で周知していますが、なかなか、浸透していないのが現実です。</li> <li>・家族としては、元気なうちは自分たちで何とかしたいと思う気持ちも分かりますので悩ましいところ です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後見的支援制度のPRはしている。</li> <li>・後見制への苦手意識の由来は、制度の理解は簡単ではない、スタートする際の手続きと費用の心配。</li> <li>・後見制をつけると、家族内の預金もやりとりが煩雑になる、以上が家族目線での困難さかと思 います。</li> <li>・家族以外が後見人についた際、身上監護にふみこんでくれる人はかならずしも多くはないの ではないかと予測。また、インフルエンザ予防接種や病院入院の意思、医療行為への同意権もない ので、メリットは財産管理と大きな契約(入所契約等)ではないか。</li> </ul> <p>でも身上監護的な視点で、入所施設にサービス改善要求するようなことも少ないのではないか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度と当事者との橋渡し</li> <li>・まず支援者が制度について知ること</li> <li>・制度自体がよくなること</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい説明の場と、手続きの簡略化</li> </ul>

### (3)障害者地域活動ホーム(社会福祉法人型)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・申立ての申請書類を作成するのが大変だと思っている方が多い。</li> <li>・報酬の支払についても、高額と思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者向け講習の実施。</li> <li>・以前はよく行なわれていたが、各事業所に来ていただく大変助かります。活動中にスタッフを研修に出す事はむずかしい為。</li> </ul>

### (4)精神障害者生活支援センターA型

<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の名前や内容は広く認知されていると思いますが、具体的な部分では、理解が進んで いないのではと感じております。</li> <li>・利用を勧めたり、情報提供を行う場合は、支援者側が後見についての知識の少なさから 判断に迷うことが現状としてあります。相談支援事業として、必要な人に制度の利用をして いただけるよう努めていかなければならないと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い方、手順、費用などわかりにくい。どこの相談窓口が、どこまでやってくれるのかわか りにくい。</li> </ul>

### (5)精神障害者生活支援センターB型

<ul style="list-style-type: none"> <li>・後見制度を利用したいが、本人が約束を守れなかつたりするため、利用につながらない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が制度利用に否定的。タイミングがわからない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手続きの大変さと、費用の問題などを課題に感じることもある。</li> </ul>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制度のメリット、デメリットや任意後見人制度との違いなど、制度の認知と理解が進んで いないこと。</li> <li>2. 制度が必要になった時に申立てをしても、利用できるまで手続きが煩雑で時間がかか る。</li> </ol>